

水害の記憶を未来につなげる『ステッカーツアー』運営 見てみようよ！常総市の会



「平成27年9月関東・東北豪雨」災害

2016年		
9月9日	10時00分頃	台風第18号愛知県知多半島に上陸
	17時00分	常総市役所安全安心課、警戒待機を行い、情報収集や排水、土のうの手配等の応急活動を実施
	21時00分頃	台風第18号日本海中部で温帯低気圧に変わる
	22時54分	国交省下館河川事務所長から常総市長に「若宮戸で越水の可能性が高い、避難勧告、避難所の準備をしてください」とホットラインで伝えられる。
9月10日	0時10分	常総市市庁舎内に災害対策本部を設置
	0時20分	栃木県に大雨特別警報発令
	6時00分頃	若宮戸地先(鬼怒川左岸25.35k)溢水
	7時45分	茨城県に大雨特別警報発令
	12時50分頃	三坂町地先(鬼怒川左岸21k付近)で堤防決壊
9月11日	2時00分頃	市役所本庁舎が浸水
	3時20分	宮城県に大雨特別警報発令
	8時45分	茨城県に発令されていた大雨特別警報解除

出所:中央防災会議防災対策実行会議 水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ「水害時における避難・応急対策の今後の在り方について(報告)」平成28年3月 <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigaiworking/pdf/suigai/honbun.pdf>
常総市水害対策検証委員会「平成27年常総市鬼怒川水害対応に関する検証報告書ーわがこととして災害に備えるために」
平成28年6月 http://www.city.joso.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/6/kensyou_houkokusyo.pdf

茨城県常総市の被害概要

- 浸水は市域の約1/3の面積に相当する約40km²
- 死者2人、行方不明者なし
- 全壊53、大規模半壊1,581、半壊3,491、計5,125戸
床上浸水150、床下浸水3,066、計3,216戸
- ヘリによる救助1339人、地上部隊による救助2919人

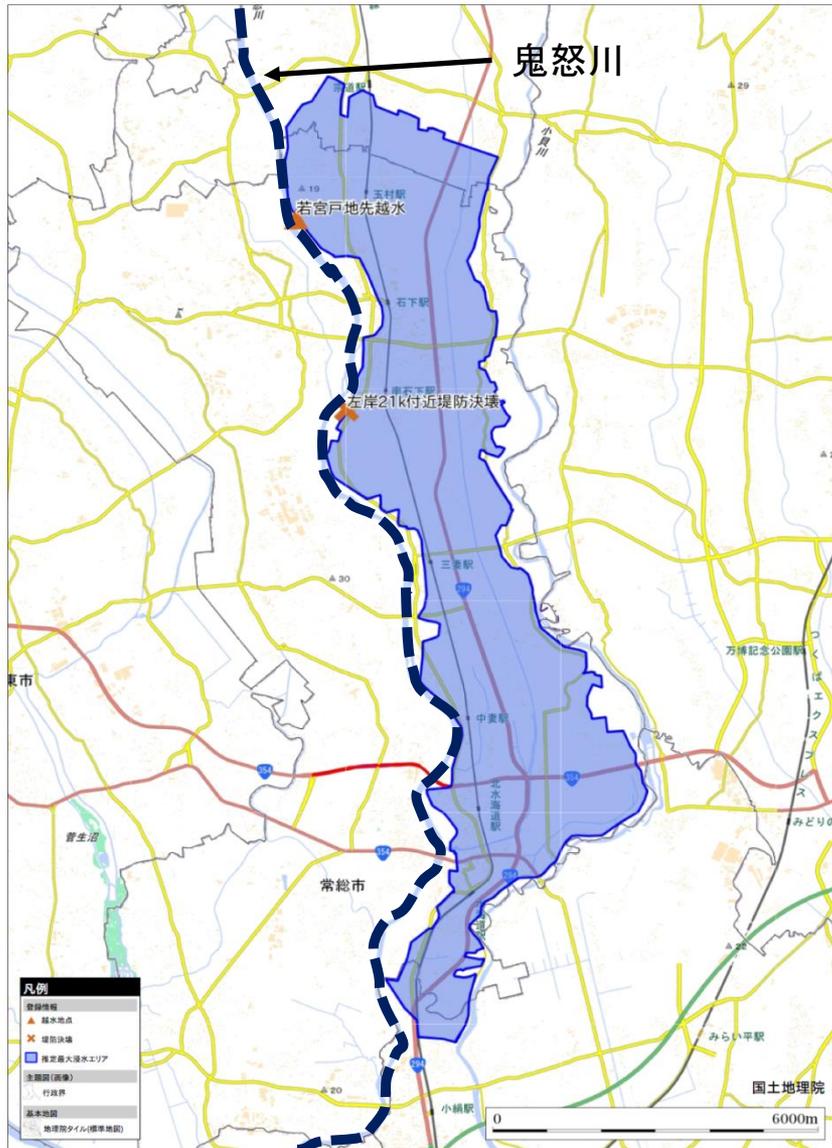


※数字は2016年6月現在

出所:常総市ホームページ

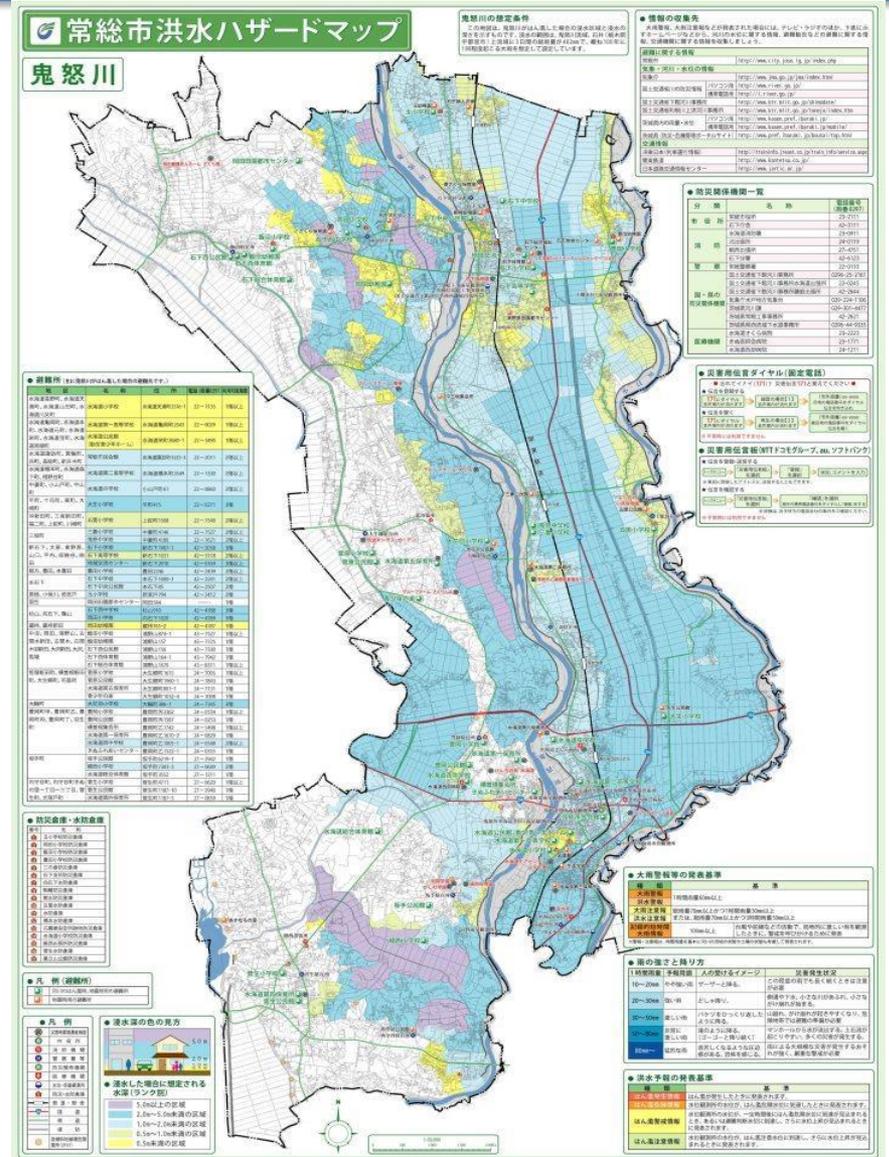
<http://www.city.joso.lg.jp/gyosei/shokai/profile/1421126938306.html>

茨城県常総市の被害概要



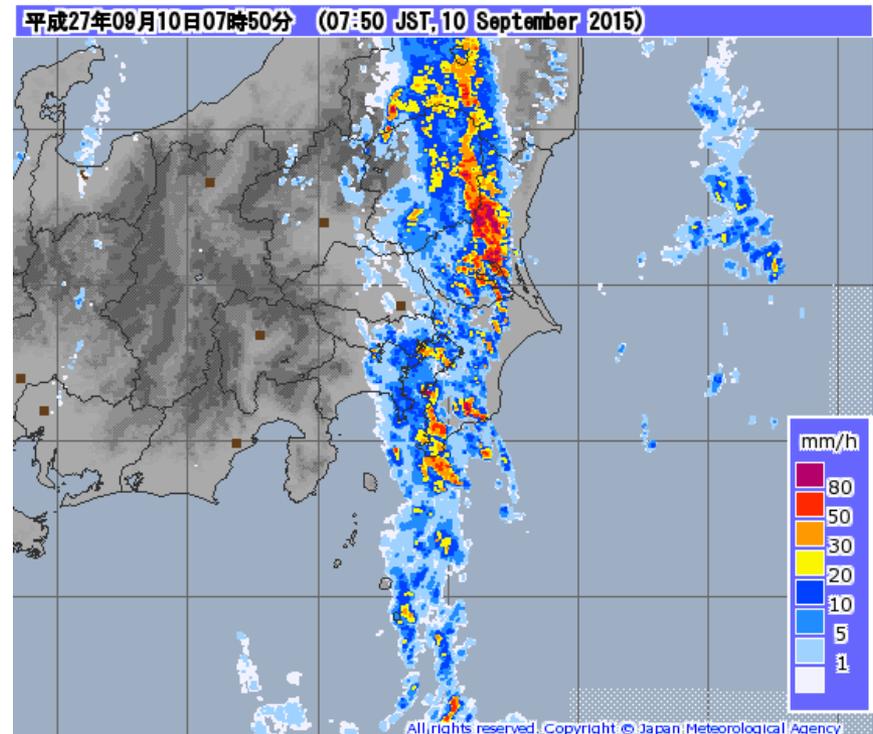
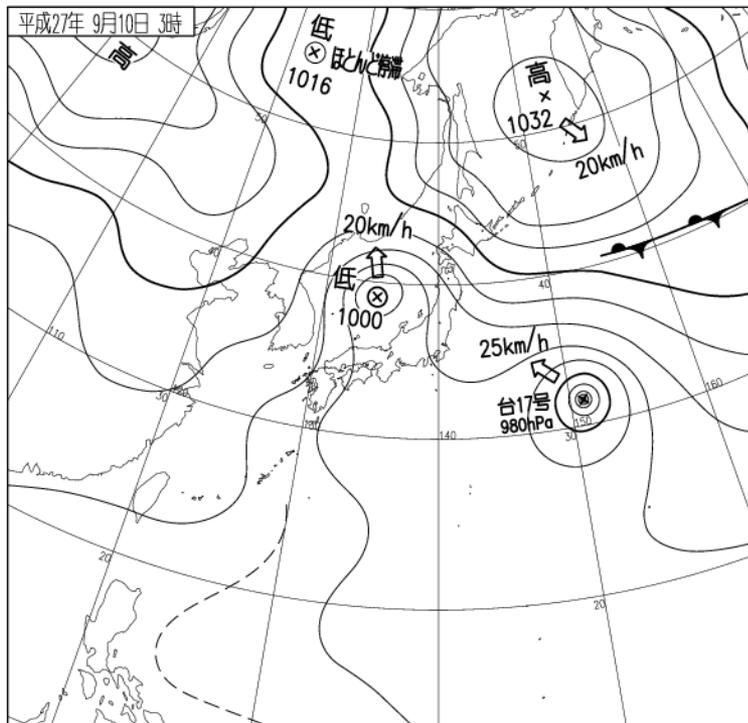
出所:常総市ホームページ

<http://www.city.joso.lg.jp/jumin/anzen/kinkyuusaigaijouhou/sonotaiyouhou/1454390083436.html>

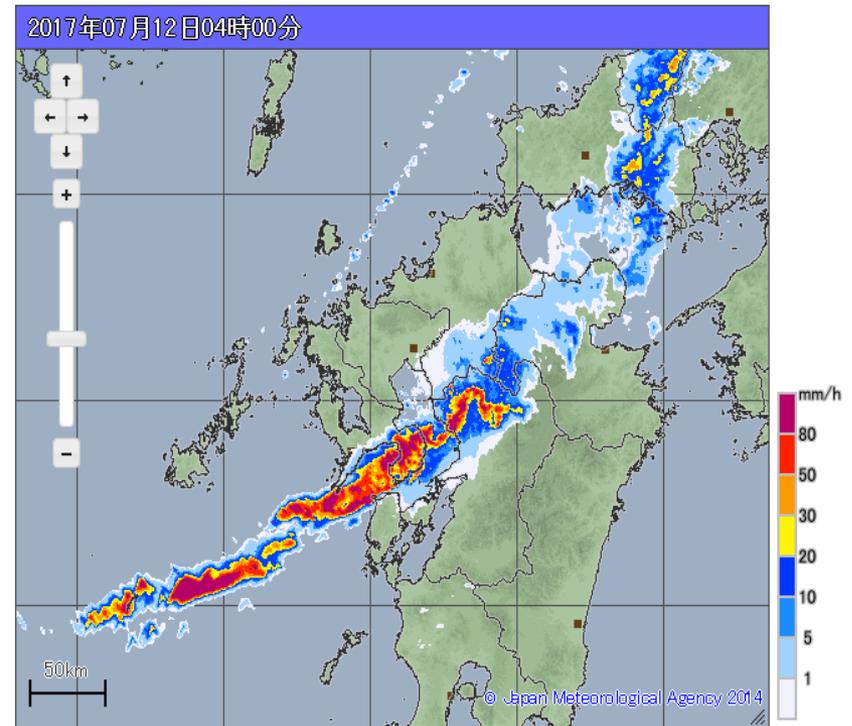
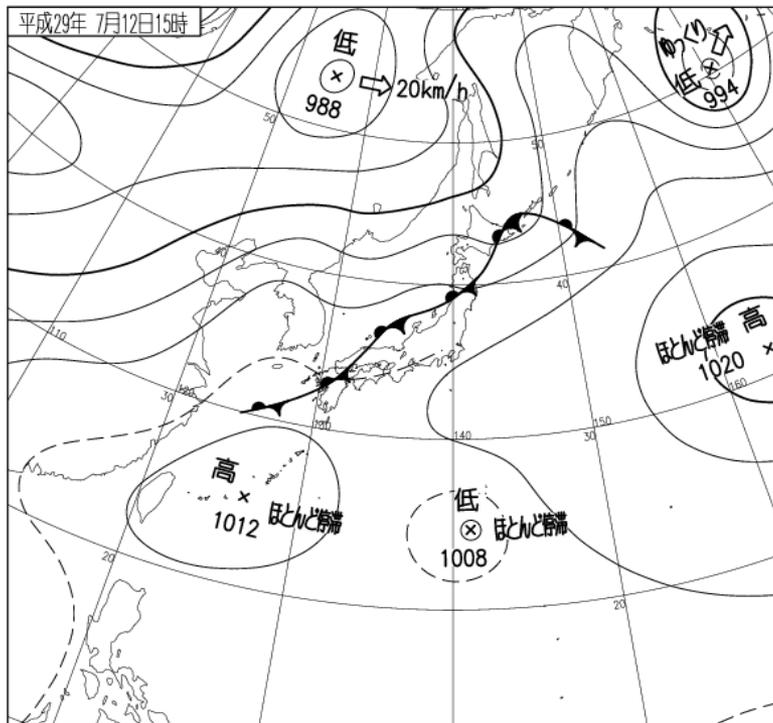


「平成27年9月関東・東北豪雨」災害

- 台風第18号のアウトーバンド、線状降雨帯、局所豪雨の発生
- 7日から11日までに観測された総降水量は関東地方で600ミリ、東北地方で500ミリを超える。



「平成29年7月九州北部豪雨」災害



A photograph of a family at a zoo. A woman in a red shirt and a man in a blue shirt are standing with a young child in a striped shirt and red skirt. They are looking at a book or sticker sheet together. The woman is holding a purple umbrella. The man is holding a camera. They are standing behind a metal fence. The background shows green foliage and a stone wall.

ステッカーツアー

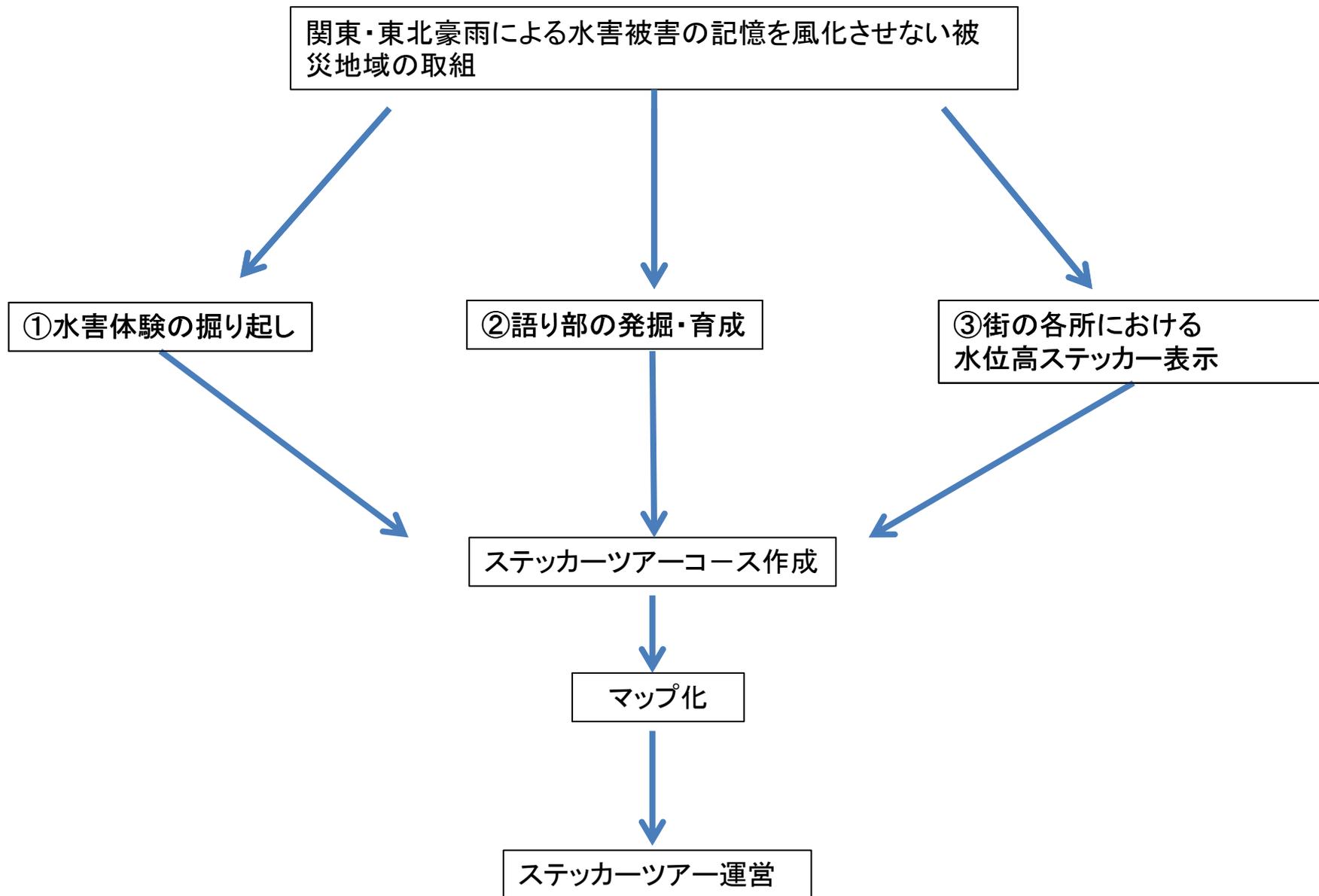
ステッカーツアーの目的

水害被害の記憶を風化させない

そのためには...

- 1.水害体験の掘り起こし
- 2.語り部の発掘育成
- 3.水位高ステッカーの表示

ステッカーツアーの目的



ステッカーツアーの特徴

1. ツアーのステッカー貼りの取り組み一緒に行うことで「見える化」し、参加型の伝わりやすい取り組み
2. 会に興味を示してもらい、関わる人々を増やす「巻き込み型」の展開
3. ツアーに関わることにより、開催地・参加者が「自発的」な防災・減災へ高めていく
4. 開催地・参加者も水害があったことを思い出すだけでなく、地域の歴史を学ぶことができる。

ステッカーツアーに至るまでの流れ

1. その地域の水害の歴史を知る(区長宅訪問)
2. 語り部の発掘
3. チラシ作成
4. メンバーによるコース下見(距離・時間の確認)
5. ステッカー設置場所の検討
6. コース作成
7. 語り部勉強会
8. ステッカーツアー開始



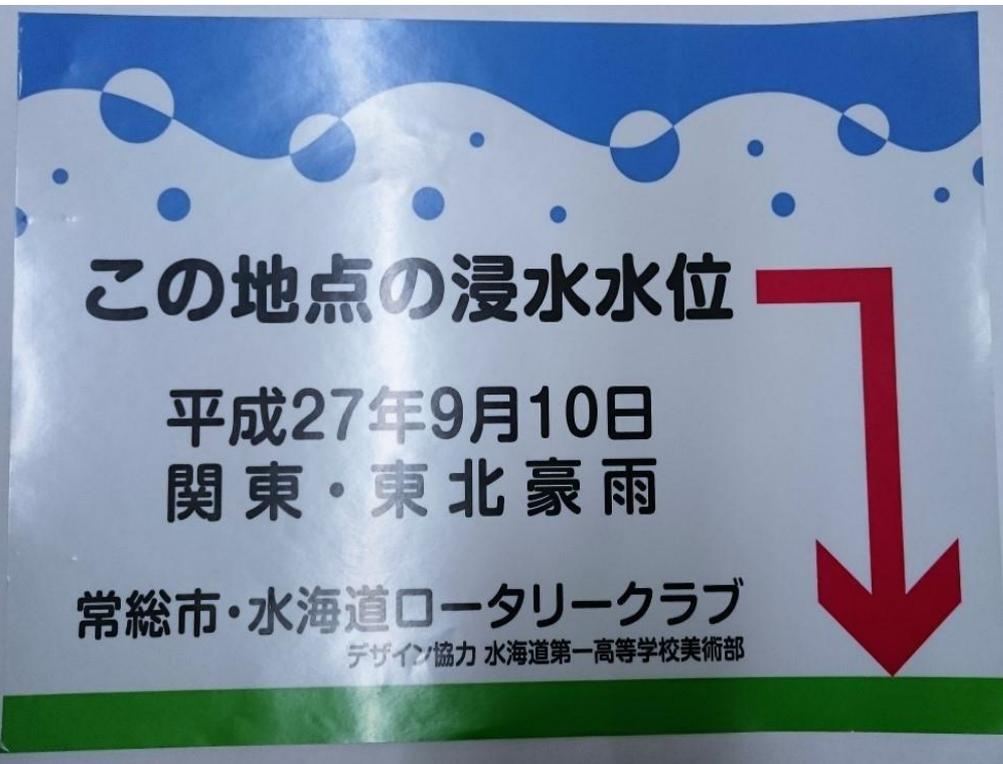
所用期間 4か月程度



ステッカーツアー一年間スケジュール

- 第一回ステッカーツアー計画準備開始: 4月
 - ・実施地区の決定
 - ・協力者ネゴシエーション
- 第一回ステッカーツアー計画準備: 5月
 - ・ツアーコースプランニング
 - ・語り部の候補調査
 - ・勉強会(当該地区の歴史と災害史等)
- 現地調査: 6月
 - ・語り部発掘とネゴシエーション
 - ・ステッカー設置場所の検討/コース検討
 - ・広報チラシ作成
- イベント開催運営: 7月
 - ・ステッカーツアー実施
 - ・反省会
- 第二回ステッカーツアー計画準備開始: 8月
 - ・実施地区の決定
 - ・協力者ネゴシエーション
- 第二回ステッカーツアー計画準備: 9月
 - ・ツアーコースプランニング
 - ・語り部の候補調査
 - ・勉強会(当該地区の歴史と災害史等)
- 現地調査: 10月
 - ・語り部発掘とネゴシエーション
 - ・ステッカー設置場所の検討/コース検討
 - ・広報チラシ作成
- イベント開催運営: 11月
 - ・ステッカーツアー実施
 - ・反省会
- とりまとめ記録パンフレット(継承教材)の作成: 12月~2月
- 最終報告: 2月中旬

実際のステッカー



見てみようよ！常総市の会

Mail

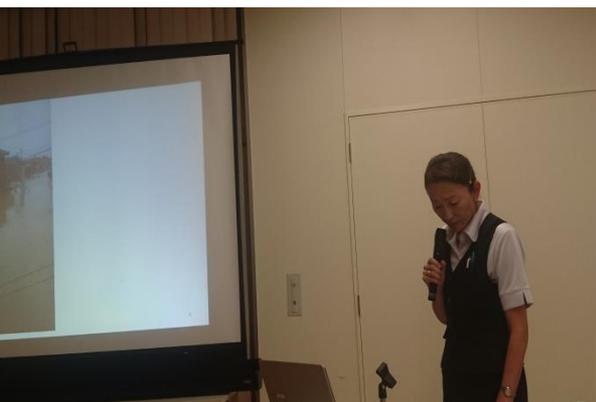
mitemitejoso@gmail.com

Facebook

<https://www.facebook.com/mitemitejouso/>

語り部から学ぶシリーズ（勉強会）

- 水害で被災した方々の実際の体験の話をしてもらい、水害が常総市で起きたことを風化させないために、その時の記憶を記録で残す勉強会。記録として残すことでここで水害が発生する地域であることを後世に語り継いでいく（アーカイブ）。
- 参加者からも当時の話を聞き、同じ体験を共有することで会場の一体感を作り上げる。



ステッカーテストツアー開催

- 本番と同様の内容をしてもらい、水位ステッカー貼り、買い物を一緒に行った。体験者の感想を聞くことで今後の課題とした。
- 課題点を活かし、次回のステッカーツアーをよりよいものにする。





ステッカーツアー開催

ステッカーツアーまでの流れ

4月15日	根新田自治区長へ電話
4月20日	根新田自治区長宅へ訪問
5月25日	常総市長訪問
5月26日	定例会議（全日程の決定）
6月2日	根新田地区現地地下見
6月9日	定例会議（コースマップ作り）
6月23日	語り部勉強会
7月1日	ステッカーツアー一本番
7月5日	反省会

ステッカーツアーの概要

場所	常総市中妻町根新田地区
日時	H29年7月1日
時間	9:30~16:30
参加者	9名
ステッカー枚数	10枚

開催地選定理由

1. 常総市の自主防災組織モデル地区
2. 以前からツアー開催の依頼があった
3. 他の候補地よりステッカーコース作成が容易であった

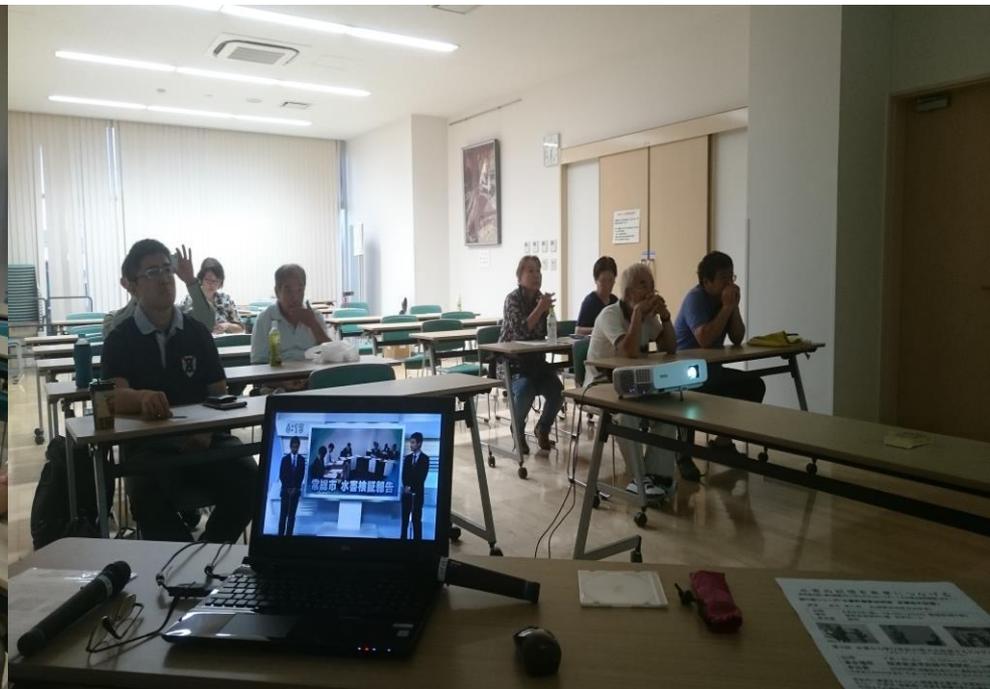
根新田地区当日タイムスケジュール 7月1日(土)

当日立会人(区長、事務局)

- 9:30 中妻駅集合
- 10:00 スタート 根新田地区1周→ステッカー貼り、語り部
- 11:30 根新田会館 放映・座談会
- 12:45 中妻駅 北水海道駅へ移動
- 13:00 北水海道駅 昼食
- 14:30 まとめ NPO commons ジュントス会議室
- 15:30 買い物 水海道商店街
- 16:30 解散 水海道駅

6月23日18:00～ ツアーに向けての語り部勉強会

ステッカーツアー前の語り部勉強会。
区長をお招きして当時の状況や行動について話していただきました。
常総市の自主防災組織モデル地区のため、当時の活動についてもお話しいただきました。



10:00スタート

趣旨説明

- 1.ステッカー貼りの行う理由
- 2.当日のタイムスケジュール
- 3.根新田地区のルート説明
- 4.なぜこの地区で行うことにしたのか

根新田地区区長・事務局長紹介
ステッカー貼りの説明



10:30ステッカーツアー開始

ツアー参加者にステッカー貼りを協力してもらう。

地元住民・通りがかりの方や団体を見て興味本位で家から出てきた方に声掛けを行い、ステッカー貼りの協力をお願いした。





11:00事務局長宅

事務局長宅にて防災監視カメラの説明を受ける。
雨天のため見ることができなかったヘリポートについての説明を受けた。

水害時にこちらから自治区の町民に対し、SMS(ショートメール)サービス
を利用し、町内の状況や取り残された住民に対し、励ましの言葉を送って
いた当時の話を聞いた。



11:30根新田会館にて勉強会

根新田地区の自主防災組織活動、防災式が高まった経緯、当時の録画動画を放映し、SMSの配信サービスの概要について触れた。

現在の防災・減災の取り組みとしてはマイタイムラインの作成を町民に作成させる取り組みを行っている。





鬼怒川
Kinu River

想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)

(赤いテープの高さ)
The height of the red tape

この場所は鬼怒川がはん濫すると
浸水する可能性があります
During Kinu River flooding, it might be flooded.

153 常総市 H29.3

12:30 昼食

参加者とスタッフが一緒になって昼食をとりました。
自己紹介を兼ねて交流を行いました。



13:30 まとめ

ツアーを通して発見・気が付いたこと発表してもらいました。
時間が短縮されていたので、当会への話し合い参加者と一緒にを行いました。



15:00～ 常総市商店街買い物

常総市内の商店街周辺を歩きながら参加者に常総市の名物品等の買い物をしてもらいました。

商店街の名物社長などに声掛け頂き、当時の話や昔の商店街の話を聞きながら散策しました。



その他の活動

他団体のスタディツアー受入れを当会と地元有志で行う

開催日	参加団体	人数
2017年6月25日	横浜市篠原地区社会福祉協議会	49名
2017年9月16日	全水道東京労働組合	60名
2017年10月16日	横浜市港区高田地区社会福祉協議会	36名
2017年11月17日	横浜市港北区新吉田地区社会福祉協議会	40名
2017年11月20日	横浜市港北区日吉地区社会福祉協議会	40名
2017年11月29日	栃木県茂木町職員研修	15名



外部協力者の発掘

常総市水害復興 語りのマッピング

1

自己・チーム紹介

- ▶ 立正大学地球環境科学部
- ▶ 特任講師 土屋衛治郎 学部生2.3年生 7名のチーム



経緯

- ▶ 地球環境科学部ではこれまで地域連携から地図づくりを数多く実施してきた。
- ▶ 見てみようよ！常総市の会 石川さんより、H27年9月鬼怒川決壊による常総市水害からの復興地図の作成依頼。



次回ステッカーツアー開催予定日

2018年2月11日(日)9:30～

詳しくは、見てみようよ！常総市の会
Facebookページをご覧ください。